

<b>授業科目名</b>	人間教育学（応用）(2100142)		
<b>時間割名</b>	人間教育学（応用）(31103)		
<b>時間割担当</b>	梶田 勲一		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	2 必修
<b>曜日・時限</b>	水・1		

### 授業の目標・概要

人間教育 (Education For Human Growth) とは、子ども一人ひとりが個性的で主体的な存在として成長していくことを教育の究極的使命であるという考え方である。特に、子ども一人ひとりが世の中に主体的に参画し、責任を果たし、良き市民、社会人としてやっていく力 我々の世界を生きる力 を身に付けていくと同時に、自分に与えられた生命を自覚し、生の喜びや躍動、充実感を実感し、生涯にわたって自分の生命を深く生きていける力 我的世界 を生きる力を身に付けさせていくことである。人間教育学では、その理念を具現化する教育に関するトピックの中でもより実践的で応用的内容となる概念について講義を行う。

### 学習の到達目標

人間教育に関する各トピックについて、自らの考えを持ち、人間教育学の基礎基本について理解する。

### 授業方法・形式

1. それぞれの学習テーマに対して、補助資料を活用しながら授業を進めていく。
2. 必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。
3. 必要に応じて、単位認定者の指名したゲストティーチャーに講義を求める。

### 授業計画

- |      |                               |                                    |
|------|-------------------------------|------------------------------------|
| 第1回  | テーマ                           | 基礎基本の育て方・教え方：「総合的な学習を支え」「生きる力」を育てる |
| 第2回  | テーマ                           | カリキュラムを創る：学校・教師が発揮する創意工夫           |
| 第3回  | テーマ                           | 教師の力量を高める：新教育課程の実践のために             |
| 第4回  | テーマ                           | 総合的な学習と心の教育                        |
| 第5回  | テーマ                           | 基礎・基本に戻る学習指導                       |
| 第6回  | テーマ                           | 学力向上をめざす教育：基礎・基本の徹底とブルーム理論         |
| 第7回  | テーマ                           | 目標に準拠した評価と考え方の実践                   |
| 第8回  | テーマ                           | 教科の学力・指導力                          |
| 第9回  | テーマ                           | 授業力を磨く：内面性を重視した学習指導                |
| 第10回 | テーマ                           | いま求められる「読解力」とは                     |
| 第11回 | テーマ                           | 伝統・文化の教育：新教育基本法・新学習指導要領の理念と実践      |
| 第12回 | テーマ                           | 「いのち」の教育                           |
| 第13回 | テーマ                           | 国際教育の課題と展望                         |
| 第14回 | テーマ                           | 「やる気」を引き出す・「やる気」を育てる               |
| 第15回 | 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる。 |                                    |

### 成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。(30%)さらに、個別計画書の作成の緻密さなどを評価する。(30%)さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。(40%)

### 授業時間外の課題

- ・全ての授業において作るレポートを蓄積し、必ずそのレポートを読んで、次の授業に臨む。
- ・授業の中で行ったディスカッションや交流において取ったメモをまとめておく。

### メッセージ

### 教材・教科書

必要に応じて提示する。

### 参考書

必要に応じて提示する。